

すべての現代人に「RO純水生活」を 純水カナンバー1の水を 手軽にご家庭で!

環境向学

生命の源は水。どんなに生活水準が変わっても、水は万人に求められ続ける。いつまでも健康に暮らしたい方々に向けたサプリメント全盛の時代、身体の約65%を占める「水」の存在はさらに重要度を増している。

環境向学(大田区上池台、保科壽治社長、03・3720・4800)は、さまざまな種類の浄水器の中でも、今注目を集めている「逆浸透膜浄水器」を製造・販売している。「逆浸透膜」は、水分子以外のほとんどすべての物質を除去した純水「RO水」をつくり出す。飲用に適さない水も浄水可能とする画期的な商品である。

保科社長は、30年以上前から、逆浸透膜のルーツであるアメリカ合衆国にて研鑽を重ね、実地に学んだノウハウを日本へ持ち帰り、国内初の逆浸透膜浄水器を開発した。同社が販売している「アクアストリートII」は、0.000005mm〜0.000001mmという超微細なメンプレンにより、水道水からウイルス、ヒ素、化学物質や放射性ヨウ



「アクア ストリートII」を手にする保科社長

素まで取り除いて、水を構成する水素に限りなく近いRO水へ変えることが可能である。腎臓結石の原因となる無機ミネラルや、糖尿病の原因となる硝酸態窒素など身体に害を及ぼす可能性を持つ物質が取り除かれているため、赤ちゃんのミルクや離乳食にも最適であり、炊飯や飲用、雑味をなくす目的でも、同社製品は大手スーパーマーケットから有名ラーメン店のスープまで幅広く利用されている。

「常温でも感じることでできる純水本来のまろやかさを、ご家庭



同社浄水器の設置例

でもぜひご賞味ください。健康を気にする現代人にこそ、当社の浄水器のよさが伝わるはずですよ」と、保科社長は純水への想いを語ってくれた。